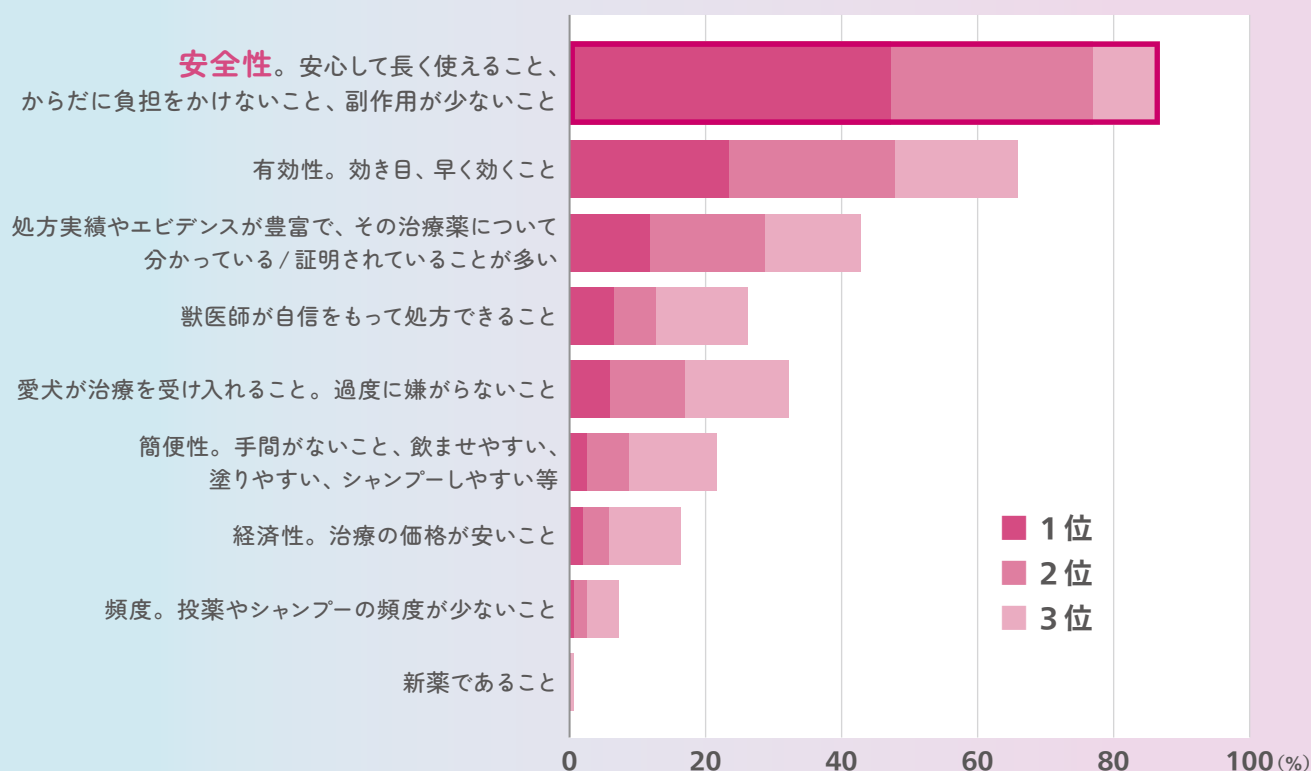


ゾエティス・ジャパンが提供する獣医皮膚科診療のトピックスを先生方にお知らせします。

かゆみ治療の 安全性

- ♡ 約9割のご家族はかゆみ治療を選択する際に**安全性**を重視。
- ♡ 約5割のご家族は**安全性**を最も重視すると回答。
- ♡ 安全性に次いで、**有効性**および**処方実績とエビデンス**を重視。

Q. かゆみ治療を選択するにあたり重視することを、重要な順に1位～3位まで教えてください。



調査概要

ベネッセコーポレーション「いぬのきもち」Web調査
(2024年12月実施 / かゆみ治療を行ったことのある犬の飼い主対象 / 回答数507)



アポキルの長期投与は犬に 悪性腫瘍の発生リスクをもたらさない¹⁾

- オクラシニブ投与群 (n=339) : 投与中央値 36 か月 (6-58 か月)
- 非投与群 (n=321) : 標準治療薬 (ex, グルココルチコイド、シクロスポリン、抗ヒスタミン薬、アレルゲン免疫療法)
- 年齢・犬種をマッチングさせた回顧的コホート研究、オクラシニブ治療開始後 24 か月以上経過を追跡

		悪性腫瘍発生率	良性の皮膚腫瘍発生率
投与群	(n=339)	16.5%	23.3%
非投与群	(n=321)	12.8%	31.5%

投与群と非投与群に有意差はなかった

投与群は非投与群より有意に低かった

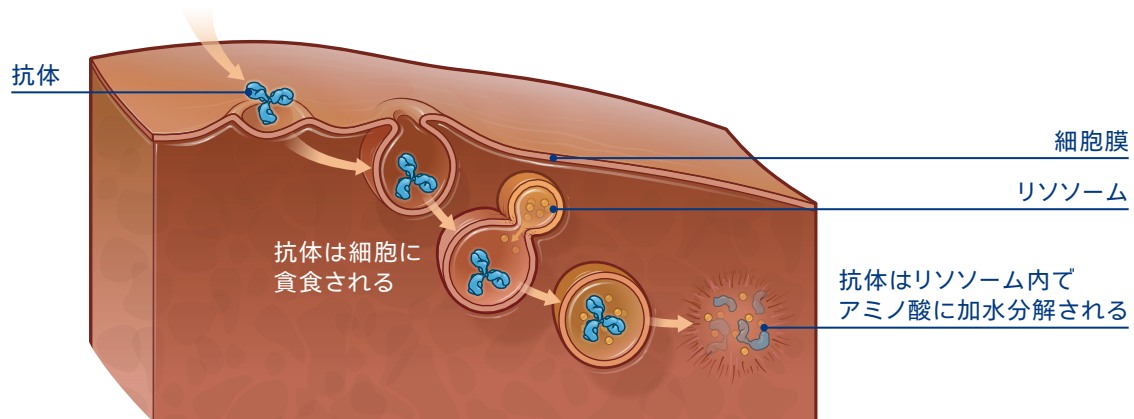
尿路感染症の既往歴や素因をもたない犬の場合、 アポキル投与による 細菌尿の有害事象は予見されない²⁾

- 明らかな尿路感染症 (UTI) の既往歴や素因をもたない、アレルギー性皮膚炎の犬 55 頭
- オクラシニブを承認された用法用量で投与し (投与期間 : 180-230 日間)、UTI の有無に関わらず尿検査ならびに尿培養を実施

- オクラシニブの投与を受けた犬 55 頭において、58-280 日 (平均 : 195 日) の追跡調査期間で、UTI を呈した犬はいなかった。
- 55 頭中 2 頭 (3.6%) の犬は、異常な排尿行動を示した。
1 頭は頻尿で、1 頭は尿失禁であった。2 頭とも尿検査は正常で、尿培養は陰性であり、UTI を示す所見はみられなかった。

サイトポイント®

成分である抗体の代謝・排泄の過程が、
サイトポイントの高い安全性に寄与



- IgG抗体であるロキベトマブは、細胞内リソソームでアミノ酸に加水分解され、再利用されたのち消失
- 排泄は肝機能や腎機能に依存しない

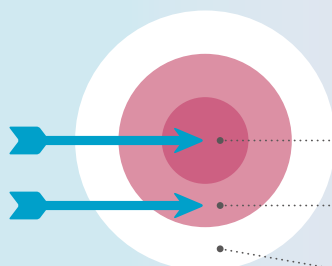
作用の範囲と安全性

(イメージ)

アポキル

JAK 阻害剤

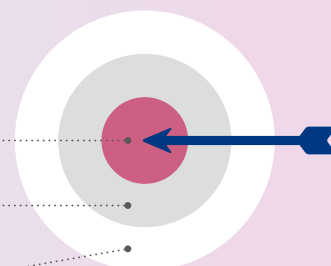
起痒性サイトカインと
炎症性サイトカインの機能を抑制。
速効性と安全性を両立。



サイトポイント®

抗体医薬

起痒性サイトカインIL-31を
ピンポイントに抑制。
長期作用と安全性を両立。



起痒性サイトカイン IL-31

炎症性サイトカイン

免疫に関与するサイトカイン

ゾエティスの
皮膚病治療薬

～目的に合わせた最適な選択を支持～

アポキル錠

アポキルチュアブル

サイトポイント®



一秒でも早く、
痒みから解き放つ。



うれしいアポキル。
アポキル チュアブル。



一秒でも長く、
痒みから解き放つ。

速効性がもたらす柔軟な治療計画

- 犬：アトピー性皮膚炎に伴う症状及びアレルギー性皮膚炎に伴う掻痒の緩和
- 選択的 JAK1 阻害剤^{※1}。IL-31 や炎症性サイトカインの JAK1 を介したシグナル伝達を抑制

持続性がもたらす長期治療計画

- 犬：アトピー性皮膚炎に伴う症状の緩和、アレルギー性皮膚炎に伴う掻痒の緩和
- IL-31 のみを標的として特異的に中和するイヌ化抗イヌ IL-31 モノクローナル抗体

投与4時間以内の素早い痒みの緩和		長期管理
皮膚炎の抑制効果		注射薬なので定期来院を促しやすい
BID から SID に減薬可能という、フレキシブルな用法設定 ^{※2}		経口薬の投与が難しい飼い主や犬
狂犬病ワクチン、混合ワクチン、いずれもワクチン前後の休薬不要		アポキルやその他の一般的な薬剤との併用制限なし ^{※3}
12ヵ月齢以上の犬		全ての年齢の犬
豚アレルギーが心配なケース	アトピー／アレルギー性皮膚炎治療の第一選択肢	併発疾患を持つ犬
美味しさで ハッピー Medikation		ご自宅での投薬不要で ハッピー Medikation



『投薬の時間』を『しあわせ時間』に変える。

ご家族と犬・猫の負担をできるだけ減らし、美味しさやごほうびを追加することで、受けなくなる、続けなくなるケアをご提案いたします。完治の難しい疾病が多い皮膚科において、続けられる治療は良好な治療アウトカムに重要です。

※1 引用: Gonzales AJ, Bowman JW, Fici G, et al. Oclacitinib (APOQUEL®) is a novel Janus kinase inhibitor with activity against cytokines involved in allergy. J Vet Pharmacol Ther. 2014;37(4):317-324.

※2 用法及び用量: オクラチニブとして体重1 kgあたり0.4mgを、1日2回、最長14日間経口投与する。さらに継続する場合には1日1回投与する。ただし、投与期間は1年を超えないこと。

※3 外部内部寄生虫駆除剤、抗菌剤、抗炎症剤およびワクチンを含む他の動物用医薬品と併用した臨床試験において、薬物相互作用は認められませんでした。